

受信手段	メリット	デメリット
テレビ共同受信	◎アンテナでテレビ視聴できない地域でも、共同受信により地上デジタル放送を視聴できる。 ○屋根等にアンテナ設置を要しないことから、住家の景観が良い。また、アンテナ転倒の心配が無い。 ○現在は、加入時負担金 35,000 円のみで、地上デジタル放送を視聴することができる。 ○現在は、市が共同受信施設を引き継ぎ運営していることから、他地区の受信組合のように視聴者が直接運営に関わることなく、テレビ視聴ができています。 ○現在は、アンテナ視聴可能区域内の方も、共同受信に加入可能となっている。	◎風雨雪や雷などの自然災害による送信区域内の停電や設備不良、大きな寒暖差による送信機器の不具合などが発生すると送信区域の一部または全域でテレビ視聴に影響を受ける。見られなくなる。 ○東電柱や NTT 柱への供架数が多く、多額の供架料が発生している。（東電 2,856 本・NTT501 本） ○供架によるケーブル延長ができない場合は専用柱（自立柱）を設置することから、民地内設置の場合は設置用地を借り上げて設置している。（445 本） ◎運営資金の減少により、令和 1 1 年度に運営予算の不足が生じる。以後、共同受信によるテレビ視聴を継続する場合は、視聴者に費用負担が発生する。新たに集金業務が発生する。 ◎加入する限り、視聴者負担金が発生する。
アンテナ受信	◎費用負担はアンテナ設置時のみ。長期的にはランニングコストが安い。 取り付け後 10～20 年メンテナンスなしで視聴できる。 ◎災害時受像機に通電できればテレビ視聴可能（アンテナ・ケーブルが損傷していない場合） ◎ニーズに応じたアンテナがある。 ・八木式アンテナ（魚の骨形状）…安価で高い受信感度。14 素子・20 素子・30 素子 ・デザインアンテナ（長方形の箱形アンテナ）…デザイン性（多様な色）が高く外観を損ねない。 コンパクトで設置場所に柔軟性がある。風雨雪に強く、八木式アンテナに比べて転倒リスクが少ない。 ・ユニコーンアンテナ（円筒形のアンテナ）… スリムなアンテナで風雨に強く、住宅の外観を損なわない。電波妨害も受けにくい。	◎設置場所の環境により、アンテナで電波を受信できない場所がある（難視聴区域） 山間部や低地のため、スカイツリーからの電波を直接受信できない区域。 なお、周辺地域の中継局からの電波や山腹からの跳ね返り波を受信し視聴する方もいる。 ・雪や強風など天候の影響を受けることがある。 ・自宅の外観にアンテナが加わる。
ひかり TV	◎アンテナが不要で 4K・8K の高画質の視聴ができる。 ◎地上デジタル放送や BS 放送に加えて、スポーツ、映画、音楽など、ニーズに応じたプラン選択により、さまざまな専門チャンネルを視聴できる。 ○インターネット回線とのセット契約でコストを抑えられる場合が多い。 ○UHF アンテナや BS アンテナの設置は不要	◎視聴するにはインターネット環境が必要。（プロバイダ契約が必要） ◎ひかり TV を見るだけで加入する（インターネットを活用しない）と割高となる。 安価な視聴プランは有るが、この他に係る経費がある（初期費用・サービス料・プロバイダ料） 【初期費用】 約 43,560 円 基本工事料 11,550 円（税込）、映像用回線終端装置工事 約 21,780 円 テレビ接続工事 台 7,150 円（税込）、 テレビ視聴サービス登録料 3,080 円（税込） 【月 額】 約 6,490 円 テレビ視聴・伝送サービス料 990 円、視聴プラン（基本 1,100 円）、プロバイダ契約料 4,400 円 ※ 通信事業者等により様々な料金プランがある。
インターネット TV （TVer など）	◎インターネット環境があれば視聴可能となる。 インターネット回線を通じて、動画コンテンツを視聴するサービス。光テレビもその一つ。 ◎見たいものを好きなときに見られる。 【視聴形態】スマートテレビ（インターネット接続可能テレビ）…多様なアプリからコンテンツ視聴 VOD（ビデオ・オン・デマンド）…見たいコンテンツを選んで、好きなときに視聴。 TVer（視聴料無料）…見逃し配信サービス。民放各局が見逃し配信する番組を視聴可。 NHK プラス（受信契約者無料）…総合・E テレを放送後一週間視聴可。同時配信も実施 一週間を過ぎると有料の NHK オンデマンドへ移行。	◎オンタイムの視聴は光テレビと NHK プラスのみ。インターネットを活用しないと割高。 ◎視聴するにはインターネット環境が必要。（プロバイダ契約が必要） ◎地上デジタル放送をオンタイムで視聴するには、光テレビの加入が必要。…上記参照 NHK プラスは同時放送実施。 ○接続にかかる通信費・プロバイダ料は視聴者負担。 ○TVer 視聴の場合はアプリを取得する。
ケーブルテレビ	◎電波の弱い地域や届かない地域でもアンテナ無しでテレビが視聴できる。 ◎ニーズに合わせてプランを選択（有料）することで、地デジ・BS・CS 放送のほか専門チャンネルを視聴できる。→多様な視聴ニーズに対応できる。	◎共同受信区域ではケーブルテレビの視聴不可。視聴範囲外 ◎月額料金や解約時違約金などの費用がかかる。 ・基本的には BS・CS・4k 放送がセットされており、月額は 6,000 円台。ひかりでは CS を外せるが CATV はセットされている。